

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 南薩地域振興局農政普及課指宿市十二町駐在駐在

課題名② 指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	3				
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	3				
活動体制・ 活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	2	1			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3				
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3				
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	1	3			
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか		3			
活動の 波及性 と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	1	2			
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	1			

令和7年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 南薩地域振興局農政普及課指宿市十二町駐在駐在

課題名② 指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	3	1			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者, 地区)の選定は適切であるか	3	1			
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3	1			
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	2	2			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	2	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	1			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域への波及性があるか	3	1			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	2			

指宿地域の特色を生かした稼げる花き産地の育成 （指宿地域の観葉産地の育成）

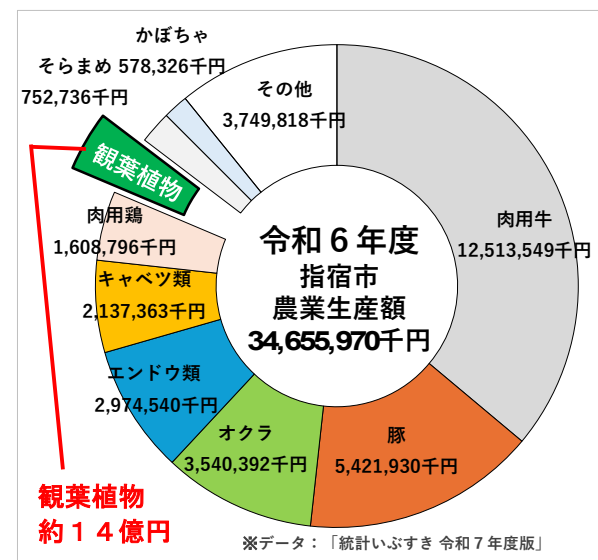


南薩地域振興局 農政普及課 指宿市十二町駐在

1

1 産地概要

(1) 指宿市農業生産額



- ・観葉植物の生産額は耕種部門では4位
- ・市町村別の栽培面積は日本一

2

1 産地概要

(2) これまでの取組み（令和2～4年）

産地知名度向上・販路拡大対策

- ・生産者組織，JAいぶすき，指宿市，県等が連携



HPの作成（観葉のまち指宿）

PRアイテムの作成

カーラッピング



PR活動（メディア）

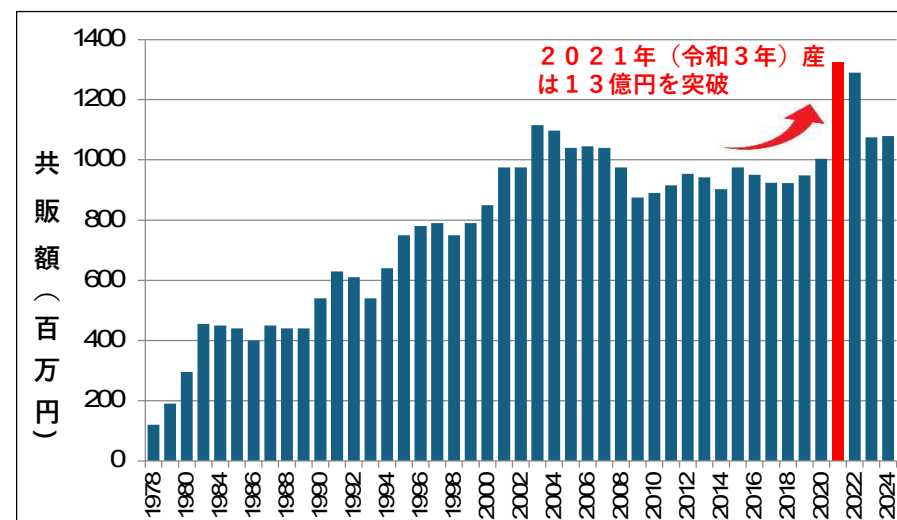
PR活動（販売会）

PR動画の作成

3

1 産地概要

(3) JAいぶすき観葉植物部会の共販額の推移

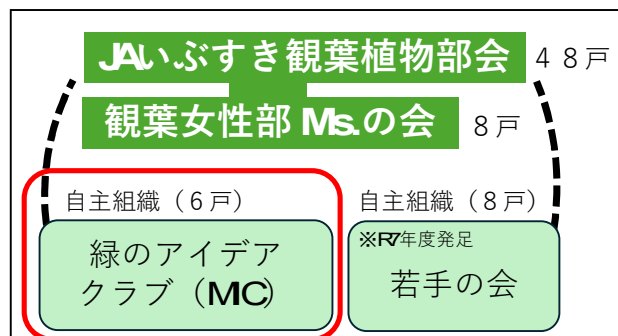


- ・PR活動，巣ごもり需要等により共販額増

4

1 産地概要

(4) 生産者組織 ⇒ 農政普及課では4つの組織活動を支援



5

3 産地の課題

長年の採土により山土の確保が困難、単価上昇



現行使用量の継続が
困難な状況

以前	R4	1台10t
8,000円	20,000円	(税別)

MCと連携して山土の代替原料の探索を開始 (令和4年9月)

普及指導計画

令和5年度

指宿地域の特色を生かした花き産地の育成
研究会組織への支援
資材コスト高騰対策支援 (成果指標: 新規原料の提案)

令和6年度

環境負荷を低減した花き栽培の普及推進 (重点活動)
観葉植物の新規原料 (鉢用土) の検討

令和7年度

環境負荷を低減した花き栽培の普及推進 (重点活動)
観葉植物の新規原料 (鉢用土) の普及

7

2 緑のアイデアクラブ (MIC) について

概要

○2012年設立。現在、生産者6戸+市・普及で活動中。

○目的

生産作業の効率化のアイデアを出し合い、商品力向上を図り販売促進に繋げる会。

○活動

毎月第3火曜日に1時間程度の勉強会、現地視察

これまでの活動 (一例)

- ・トレードフェア視察研修 (FAJ)
- ・先進地視察研修 (南原農園)
- ・製造現場視察 (指宿広域汚泥リサイクルセンター)
- ・用土改善
- ・資材検討
- ・生理障害
- ・LED電照
- ・用土、肥料、農薬
- ・堆肥

6

4 浄水ケーキ導入の検討

(1) 代替原料の探索

東邦鉱業(株) (指宿市)	七ツ島バイオマス発電所	中越パルプ工業(株)
砂利・海砂 ・ 建築、道路建設用 ・ コスト合わず	フライアッシュ ・ 有機物燃焼後の副産物 (草木灰) ・ 強アルカリ (pH11) のため土の代替として不可	廃PS炭 ・ ペーパースラッジを炭化したもの ・ 強アルカリ (pH11~12) のため土の代替として不可

8

4 浄水ケーキ導入の検討

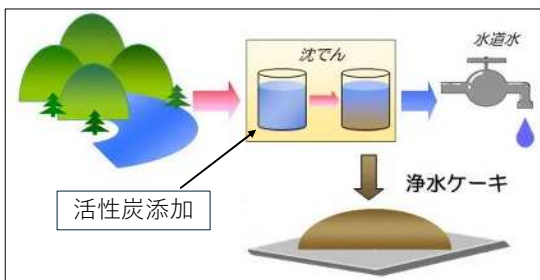
鹿児島市水道局のHPより抜粋



浄水発生土（脱水ケーキ）の有効利用事業者の募集について

鹿児島市水道局では、環境にやさしい水道事業を目指して、浄水発生土（脱水ケーキ）の有効利用に取り組んでおり、現在、グラウンド用土資材や園芸用資材として一部使用しています。今後、さらに有効利用できないか検討していきたいと考えていますので、浄水発生土（脱水ケーキ）の有効利用事業者を募集します。

○自然の川の水を浄水場で浄化する際に取り除かれた微細な土砂



形状、発生量、価格、安全性、化学的安定性から滝之神浄水場の導入を検討

9

4 浄水ケーキ導入の検討

(3) 生育試験② 令和6年6月13日～令和7年3月4日



品種：ベンガレンシス
鉢：8.0寸

浄水ケーキ
20～40%生育問題なし



土 70%
浄水ケーキ 0%
ビートモス 30%

土 50%
浄水ケーキ 20%
ビートモス 30%

土 30%
浄水ケーキ 40%
ビートモス 30%

○

◎

◎

(根鉢形成) 11

4 浄水ケーキ導入の検討

(2) 生育試験① 令和5年5月24日～12月7日



品種：ベンガレンシス
鉢：3.5寸



鉢上げ直後



浄水ケーキ
20～35%生育問題なし

土 70%
浄水ケーキ 0%
ビートモス 30%

土 50%
浄水ケーキ 20%
ビートモス 30%

土 35%
浄水ケーキ 35%
ビートモス 30%

土 0%
浄水ケーキ 70%
ビートモス 30%

○

◎

◎

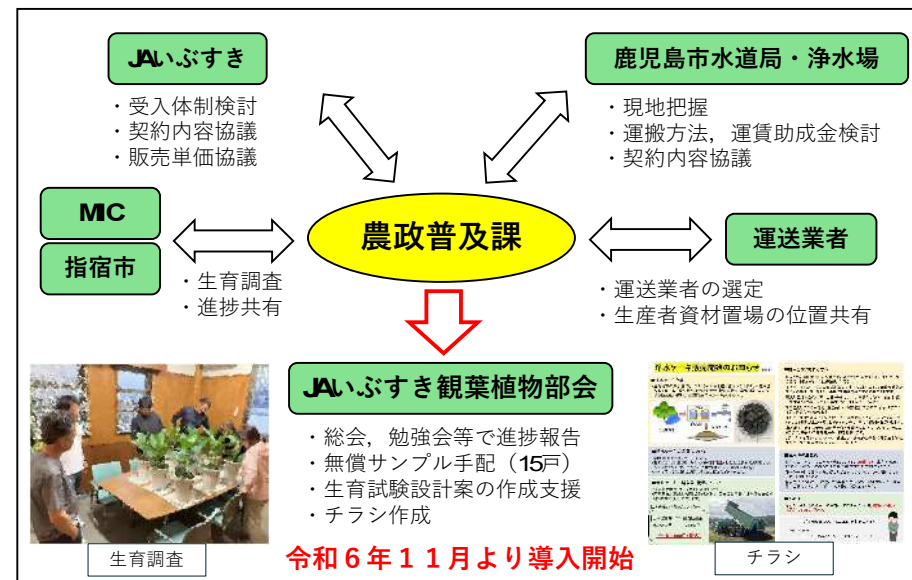
△

(根鉢形成)

10

4 浄水ケーキ導入の検討

(4) 各関係機関との連携

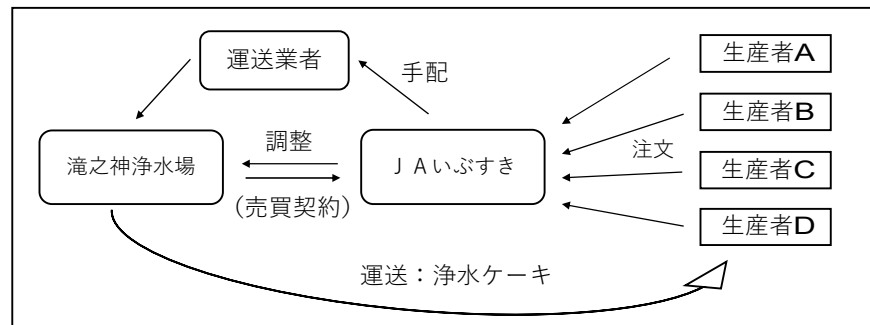


令和6年11月より導入開始

12

4 浄水ケーキ導入の検討

(5) 受け入れ体制



- 最小ロット：7 t (12 m³)
※10 t 深箱ダンプ1台
- 農家の資材置き場に直接搬入
- 1週間に1台のみ



13

4 浄水ケーキ導入の検討

(6) コスト試算

ダンプ1台当たりの金額 (税込)

	ダンプ1台		1台金額 (税込)			計	運賃助成金	合計
	重量	容量	運賃	土代	その他			
山土	10 t	10 m³	22,000円			22,000円	—	22,000円
浄水ケーキ	7 t	12 m³	30,250円	2,933円	322円	33,505円	24,500円	9,005円

単価 (税込)

	1 t 単価	1 m³ 単価
山土	2,200円	2,200円
浄水ケーキ	1,286円	750円

コストメリット有り

1 t 単価は約 1/2 1 m³ 単価は約 1/3

14

4 浄水ケーキ導入の検討

単価表 ※容量換算

		単価 (円/L)
山土	22,000円/10 m³	2.20
浄水ケーキ	9,005円/12 m³	0.75
ボラ	63,000円/18 m³	3.50
PEATモス	4,388円/320 L	13.71

用土 1 m³ (1000 L) あたりのコスト

	単価 (円/L)	対照区		浄水ケーキ40%	
		割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)
山土	2.20	50	1,100	10	220
浄水ケーキ	0.75		0	40	300
ボラ	3.50	20	700	20	700
PEATモス	13.71	30	4,113	30	4,113
計		100	5,913	100	5,333

580円/m³コスト減

年間 100 m³ の用土量 × 580 円 = 58,000 円/年のコスト減

15

4 浄水ケーキ導入の検討

(7) 鉢重量試験

	土 70% 浄水ケーキ 0% PEATモス 30%	土 50% 浄水ケーキ 20% PEATモス 30%	土 30% 浄水ケーキ 40% PEATモス 30%
比重 (g/cc)	0.680	0.635	0.580
尺鉢 + 用土 重量 (kg)	10.7	10.3 (▲0.4)	9.2 (▲1.5)
尺鉢 + 用土 + 水 重量 (kg)	13.7	13.1 (▲0.6)	11.8 (▲1.9)

(土単体：0.946g/cc 浄水ケーキ単体：0.534g/cc PEATモス単体：0.200g/cc)

浄水ケーキ40%の配合により、尺鉢は約20kg軽くなる

16

4 浄水ケーキ導入の検討

(8) 生産者の声

利点

- ・原料代が下がって良かった。
- ・鉢が軽くなることで作業性が向上した。
- ・形状が崩壊せず安定している。
- ・生育が良くなった気がする。
- ・今後も継続使用したい。

懸念点

- ・形状が大きく、小さい鉢（4.0寸以下）は混ざりが悪い。
※車両のタイヤで踏みつぶして使用している人もいる
- ・購入単位が7 t（12m³）と大きく、置場が確保できない。

17

4 浄水ケーキ導入の検討

(11) 活動の成果

- 有効利用資源を活用することで、指宿地域の採土量の減少に寄与し、用土原料の安定供給につながった。
- 鉢用土のコスト削減、鉢の軽量化に寄与した。

(12) 今後の取組・課題

- 新規導入農家支援
- [課題] 少量から購入できる販売体制の構築
- [課題] 供給量の確保（河頭浄水場の浄水ケーキの活用検討）

「安定供給」，「生産コスト削減」，「鉢の軽量化」
の利点を活かして普及拡大を図る

19

4 浄水ケーキ導入の検討

(9) 普及状況

	令和6年度 (11月～3月)	令和7年度 (4月～12月)	計
導入戸数	8戸	7戸	15戸
購入量	105 t	217 t	322 t

⇒ JA部会員（48戸）の約1/3が購入

(10) 成果目標

浄水ケーキ導入戸数 ※積み上げ

	1年目 令和6年度	2年目 令和7年度	3年目 令和8年度	4年目 令和9年度	5年目 令和10年度
目標	2戸	10戸	18戸	20戸	22戸
実績	8戸	15戸			

⇒ 令和8年度は3戸の新規導入を目指す

18



20